



せいひ会だより

2013年(平成25年)
1月1日発行
<第153号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>

謹賀新年

今年も宜しくお願い申し上げます。
せいひ会職員一同



12月の行事

- 5日・19日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 12日 陶芸教室(通所)
- 13日 クリスマス忘年会(じゅげむ)
- 16日 クリスマス忘年会(GH)
- 17日 誕生会(元亀・通所)
- 24日 クリスマス会(風和)
- 25日 クリスマス会(元亀)
- 25日 クリスマス忘年会(通所・丘の家)
- 26日 もちつき(寿限無)
- 27日 もちつき(元亀・GH・通所・丘の家)
- 28日 もちつき(風和)



1月の行事予定

- 7日・21日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 14日 陶芸教室(通所)
- 21日 誕生会(元亀・通所)



ノロウイルス等の感染予防について

ノロウイルスをはじめとする感染性胃腸炎の流行が報じられています。手洗いや施設来苑時の手指消毒等、皆様方のご協力を引き続きよろしくお願い致します。

衣類等のお持ち込みについて

寒さも一段と厳しくなってきました。御家族の皆様から利用者の方々へ、衣類等を持ち込まれることも多いと思いますが、その際には記名の確認を今一度お願い致します。
①洗濯で記入した名前が消えませんか？
②直接衣類に書けない場合には、別布に記名して縫い付けてください。
また、ズボンのゴムのゆるみなども、併せてご確認ください。

☆12月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は元亀の里：永田 俊男様にお話を伺いました。

昭和10年、西彼町下岳の農家に6人兄弟の4番目として生まれる。子供の頃は、学校から帰ると“芋を掘っているので帰ってきたら手伝いに来るように”との両親の置手紙があり、遊ぶ間もないように家の手伝いをしてきた。夏休みには、両親が昼寝をしている間に近くの海で泳ぐのを楽しみにしていたそうだが、見つかったら畑に連れて行かれたとのこと。当時は中学校を卒業すると集団就職が流行っていたが、家の手伝いをするために集団就職には行かなかった。19歳で白崎の石屋職人に弟子入り。その後建設会社に勤め、石垣つきや建物の柱のすけ石を敷いたりしていた。26歳で結婚し2人の子供に恵まれる。しばらくして、石屋としての技術を買われ、友達の建設会社で定年まで働いた。「昔は大きな石を発破や石刀で割って、ノミで削り金テコで動かしたりと石扱いは大変でした」「身体に無理すぎて腰を痛めて病院に通うことが多かった」

と、苦勞されていたようだ。「時代の流れで建物の基礎もコンクリートに代わったし、今はパワーショベルとか大型機械を使って楽に作業ができる」「自分も大型機械の免許を取ったりして時代について行った」とのこと。また、「今の時代は何でも機械に頼って楽をしようとするから苦勞を知らない」「お金さえあれば何でも手に入る」と、現代人は苦勞を知らないことで色々な有難みが分からないことを憂えられていた。終戦後の思い出として、「農家だったので貧しくはあったが食べ物には不自由しなかったけど、街の人達は芋づるを取るための美味しくない親芋まで買って食べていた」と農業の有難さを語られていた。また、若い頃は車に乗りたくて、近くの精米所にあった三輪車を持ち主に頼み込んで運転させてもらうのが楽しみだったとのこと。「今は昔の無理がたたって身体が自由にならない」と嘆かれていたが、思い出話を沢山話して頂いた。

お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介します。

うたの時間

聖なる夜
そっとのぞき
サンタさん
まだ起きています
窓をむく
その寒風に
ベッドに吊るす
靴下ゆるる

竹下晶子

夕方
知人に会えた
嬉しさよ
朝まだき
師走の空は
まだ暗く
今日一日を
大事にせよと

作中和子

赤い服
サンタクロースに
我もなりけり
雪が降り
冬の寒さが
身にしみる

中島マツ

雲仙
堀ヨシエ

元亀 堀ヨシエ

松竹
松尾タツ子

元亀 松尾タツ子

松竹
嶋田トエ

風和 嶋田トエ

長寿
中富アキ

風和 中富アキ

大空
向井シズエ

じゅげむ 向井シズエ

夢
高松恵美子

じゅげむ 高松恵美子

餅つき



毎年恒例、利用者の方々も楽しみにしているせいひ会の餅つきが、今年も各事業所で行われました。パタンパタンと餅をつく音に合わせて「ヨイショー！」の掛け声と手拍子が会場に響き渡ります。打ち手同士の息が合わず、たまに「カコン」という音も・・・。
今回も立派な鏡餅と、おいしいあんもちやかんころもちがたくさんできました。

元亀 ゆず湯



12/21は冬至。この日、元亀の里の中庭でたくさんとれたゆずを湯船に浮かべ、「ゆず湯」を楽しみました。温かいお風呂に広がるいい香りに、利用者の皆さんもご満悦の表情でした。

門松完成!



各事業所の玄関には、職員手作りの門松が飾られています。飾り付けも毎年少しずつ変わり、味がある作品となっています。ぜひご覧ください。

ケアマネ 敏美の独り言

〈新年を迎えて〉

皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は多数の皆様から「いつも読んでるよ！いつも見てるよ！！」と声をかけて頂き、有難うございました。（感謝！！）今年も自分が感じた事、思った事を気楽に書き込みたいと思います。今年も宜しくお願い致します！！
と、挨拶はこれくらいにして、新年早々ではありませんが、うちの「てやんでい親父」が明けて早々やってくれました（苦笑）。去年の暮れに急に携帯電話に連絡が入り、何事かと出てみると「便が止まらない。何か変！！どげんせればよかや」との内容。詳しく話を聞いてみるとどうも「下血」している状況が見え、細かな指示を出し、病院へ行かせました。結果、入院となりましたが、そこからは大変！！入院して2週間程で急に病院から連絡が入り「今病棟に入ったら本人がいない」との内容。いわゆる「無

断外出」。退屈になったのか、自宅に戻っていました。「何しよっとや！！」と怒り心頭で聞いてみると「バイクを取りに来ただけ。今からバイクで病院へ戻ると、平然と言っている「てやんでい親父」（呆れてものが言えない）。翌日、また病院から連絡が入り「主治医の先生が話があるので今日、夕方来てほしい」とのこと。出向いてみると主治医より「入院生活が限界にきているようです。退院して自宅療養してください」と三下り半（トホホ...）。本人を見てみると「してやったりと満面の笑み」（ふざけるな！ったく！！）帰ってきたその日から何事もなかったようにビールを流し込む有り様。我が家の長寿記録を去年塗り替えた「てやんでい親父」！！まだまだ記録を更新しそうな年明けでした。（こっちの寿命が縮まる〜）（苦笑）

メリークリスマス!



12月と言えばクリスマス。各事業所では、鍋を囲んでのクリスマス忘年会や、サンタやトナカイに扮して歌を歌ったりと、趣向を凝らしたクリスマス会が行われました。手作りケーキやおいしい鍋でお腹も膨らみ、楽しい一時を過ごしました。

